

# 南部町森林整備計画

樹立年月日                      令和 7 年    3 月 3 1 日

計 画 期 間                      自   令和    7 年    4 月   1 日  
                                         至   令和 1 7 年    3 月 3 1 日

鳥   取   県  
南   部   町

## 目 次

- I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項
  - 1 森林整備の現状と課題
  - 2 森林整備の基本方針
  - 3 森林施業の合理化に関する基本方針
- II 森林の整備に関する事項
- 第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く）
  - 1 樹種別の立木の標準伐期齢
  - 2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法
  - 3 その他必要な事項
- 第2 造林に関する事項
  - 1 人工造林に関する事項
  - 2 天然更新に関する事項
  - 3 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林に関する事項
  - 4 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準
  - 5 その他必要な事項
- 第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準
  - 1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法
  - 2 保育の種類別の標準的な方法
  - 3 その他必要な事項
- 第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項
  - 1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法
  - 2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域内における施業の方法
  - 3 その他必要な事項
- 第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項
  - 1 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大に関する方針
  - 2 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策
  - 3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項
  - 4 その他必要な事項
- 第6 森林施業の共同化の促進に関する事項
  - 1 森林施業の共同化の促進に関する方針
  - 2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策
  - 3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項
  - 4 その他必要な事項
- 第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項
  - 1 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項
  - 2 路網の整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項
  - 3 作業路網の整備に関する事項
  - 4 その他必要な事項
- 第8 その他必要な事項
  - 1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項
  - 2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項
  - 3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項

### Ⅲ 森林の保護に関する事項

#### 第1 鳥獣害の防止に関する事項

- 1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法
- 2 その他必要な事項

#### 第2 森林病虫害の駆除及び、予防、火災の予防その他の森林の保護等に関する事項

- 1 森林病虫害等の駆除及び予防の方法
- 2 鳥獣害対策の方法（第1に掲げる事項を除く）
- 3 林野火災の予防の方法
- 4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項
- 5 その他必要な事項

### Ⅳ 森林の保健機能の増進に関する事項

- 1 保健機能森林の区域
- 2 保健機能森林の区域内の森林における造林、保育、伐採その他の施業の方法
- 3 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備
- 4 その他必要な事項

### Ⅴ その他森林の整備のために必要な事項

- 1 森林経営計画の作成に関する事項
- 2 生活環境の整備に関する事項
- 3 森林整備を通じた地域振興に関する事項
- 4 森林の総合利用の推進に関する事項
- 5 住民参加による森林の整備に関する事項
- 6 その他必要な事項

## I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

### 1 森林整備の現状と課題

南部町は、鳥取県の西部に位置しており、総面積は11,403haである。町の西部は一級河川である法勝寺川を中心に急峻な山岳地形を有している。また、町の東部には周辺を山々に囲まれた盆地形状の地形を有している。

本町の森林面積は8,542ha（森林率74.8%）であり、すべて民有林であり、そのうち人工林が4,314ha（人工林率50.5%）となっている。町内の森林は、戦後の拡大造林と松くい虫被害跡地造林で造成された森林が多く、森林の有する公益的機能を守るためにも適正な保育・間伐が必要不可欠となっている。また、松くい虫被害地については、樹種転換等の推進により森林機能の回復を図る必要がある。

近年は林業従事者の高齢化、木材価格の低迷による生産コスト割れなどにより木材生産に対する意欲が減退し、管理が十分でない森林が多くなってきている。これに伴い竹の侵入による林地の荒廃化も顕著となり早急な対策が必要となっている。

これらの現状を鑑み、平成31年度から森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明などにより整備が進んでいない森林について、町を中心とした適切な森林の経営管理を推進し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図る、新たな森林経営管理制度を始める。

### 2 森林整備の基本方針

#### (1) 地域の目指すべき森林の姿

森林の有する多面的機能（注）を総合的かつ高度に発揮させるため、各機能の充実と機能間の調整を図り、適切な森林施業の実施により、健全な森林の維持造成を推進することとする。

さらに、森林の経営管理を森林所有者自らが実行できない場合には、町が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者に再委託するとともに、再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については、町が自ら経営管理を実施する森林経営管理制度の活用を推進することとする。

注：本計画においては、森林の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面にわたる機能のことを「森林の有する多面的機能」と表現し、このうち、林産物の供給に関する機能以外の機能を「森林の有する公益的機能」と表現する。

| 森林の有する機能            | 望ましい森林資源の姿                                                                                                               |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水源涵養機能              | 下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設が整備されている森林                                     |
| 山地災害防止機能<br>/土壌保全機能 | 下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林。                         |
| 快適環境形成機能            | 樹高が高く下枝が密に着生しているなど遮断能力が高く、かつ風害、潮害等の諸被害に対する抵抗性が高い森林及び汚染物質の吸着能力が高く、かつ抵抗性があり、葉量の多い樹種によって構成されている森林。                          |
| 保健・レクリエーション<br>機能   | 自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、湖沼、溪谷等の観光的に魅力のある自然景観を有する森林や、必要に応じてキャンプ場や自然公園等の保健・教育活動に適した施設が整備さ |

|           |                                                                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | れている森林                                                                                                        |
| 文化機能      | 史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林。                                         |
| 生物多様性保全機能 | 全ての森林が発揮するものであるが、属地的に機能が発揮されるものを示せば、原生的な森林生態系、希少な生物が成育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有な森林が生育・生息する溪畔林等、その土地固有の生物群集を構成する森林。 |
| 木材等生産機能   | 材木の生育に適した森林土壌を有し、適切な林分密度を保ち、形質の良好な林木からなる成長量の多い森林であり、林道等の生産基盤が適切に整備されている森林。                                    |

注1) 森林の有する多面的機能については、地形条件、気象条件及び森林の種類などにより発揮される効果は異なり、また、洪水や渇水を防ぐ役割については、人為的に制御できないため、期待されるときに必ずしも常に効果が発揮されるものではないことに留意する必要がある。

注2) これらの機能以外に森林の有する多面的機能として、地球環境保全事業があるが、これについては二酸化炭素の固定、蒸発散作用等の森林の働きが保たれることによって発揮される属地性のない機能であることに留意する必要がある。

## (2) 森林整備の基本的な考え方及び森林施業の推進方策

森林整備の基本的な考え方を実現していくため、地域の森林の内容並びに森林に関する自然的条件及び社会的要請を総合的に勘案の上、それぞれの森林が特に発揮することを期待されている機能に応じて、水源涵養機能、山地災害防止機能/土壌保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能、木材等生産機能に区分し、それぞれ次のとおり森林整備の推進を図ることにより、望ましい森林の姿に誘導するよう努めるものとする。

| 森林の区分               | 森林整備の基本方針                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水源涵養機能              | <p>良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生を発達させる施業を基本とすると共に、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図ることとする。また、立地条件や町民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。</p> <p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、適切な管理を推進することを基本とする。</p>                    |
| 山地災害防止機能<br>/土壌保全機能 | <p>災害に強い基盤を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図る施業を推進するとともに、高齢級の森林への誘導を推進することとする。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、適切な管理を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p> |
| 快適環境形成機能            | <p>地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。</p>                                                                                                                           |
| 保健・レクリエーション機能       | <p>町民に憩いと学びの場を提供する観点から、立地条件や住民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備及びその適切な管理を推進することとする。</p>                                                                                                                                          |

|           |                                                                                                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文化機能      | <p>美的景観の維持・形成に配慮した森林整備及びその適切な管理を推進することとする。</p>                                                                                         |
| 生物多様性保全機能 | <p>原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が成育・生息する河畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全する。</p>                       |
| 木材等生産機能   | <p>木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進する。</p> <p>施業の集団化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p> |

### 3 森林施業の合理化に関する基本方針

森林所有者に対する施業内容やコストの提案を行うなど、普及・啓発活動を強化し、森林所有者や森林経営の受委託者等の合意形成を図ることで、森林施業の共同化及び森林経営の受委託等を促進する。航空レーザ測量等のリモートセンシングによる高精度なデータやドローン等を活用した「スマート林業」の推進により森林経営の効率化を図る。

また、地形にあった機械作業システムの導入・定着やオペレーターの養成、林業労働者の確保・育成を図り、低コスト化や効率的な路網整備を行うこととする。

さらに、これらの取組に加え、森林の経営管理(自然的経済的社会的諸条件に応じた適切な経営又は管理を持続的に行うことをいう。以下同じ)を森林所有者自らが実行できない場合には、町が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林について意欲と能力のある林業経営者に再委託するとともに、再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については、町が自ら経営管理を実施する森林経営管理制度の活用を促進することとする。

## II 森林の整備に関する事項

### 第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く）

#### 1 樹種別の立木の標準伐期齢

立木の標準伐期齢は、標準的な立木の伐採（主伐）の時期に関する指標として市町村森林整備計画において定められ、制限林の伐採規制等に用いられるものである。ただし、標準伐期齢に達した時点で森林の伐採を義務づけるものではない。

主要樹種ごとに、下表に示す林齢を基礎として、標準的な立地条件にある森林の平均成長量が最大となる林齢を基準に、森林の有する公益的機能、平均伐採齢及び森林の構成を勘案して定めた。

| 地 域 | 樹 種 |     |     |        |     |        |
|-----|-----|-----|-----|--------|-----|--------|
|     | ス ギ | ヒノキ | マ ツ | その他針葉樹 | クヌギ | その他広葉樹 |
| 全 域 | 40年 | 45年 | 35年 | 45年    | 10年 | 20年    |

注）マツとはアカマツ及びクロマツをいう。

#### 2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

主伐に当たっては、「主伐時における伐採・搬出指針の制定について」（令和3年3月16日付2林整整第1157号林野庁長官通知）、「伐採作業と造林作業の連携等に関する指針」及び「主伐と更新等に関する手引」（令和元年6月21日付第201900081662号鳥取県農林水産部森林・林業振興局森林づくり推進課長通知）を踏まえ、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行うこととする。この際、伐採跡地が連続することがないように、伐採跡地間には、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保することとする。また、伐採の対象とする立木については、標準伐期齢以上を目安として選定することとする。特に、花粉の発生源となるスギ等の人工林の伐採・植替え等を促進する。

また、伐採後の的確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新の方法を定め、その方法を勘案して伐採を行うこととする。特に伐採後の更新を天然更新による場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮することとする。

さらに、林地の保全、雪崩及び落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持並びに溪流周辺及び尾根筋等の森林における生物多様性の保全等のため必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置することとする。

#### ア 皆伐

（ア）皆伐に当たっては、気候、地形、土壌等の自然的条件及び森林の有する公益的機能の確保の必要性

を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一か所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に配慮し、的確な更新を図ることとする。また、皆伐によるものについては、伐採面積の規模に応じて少なくともおおむね20ヘクタールごとに保護帯を設けるものとする。

(イ) 皆伐の時期については、標準伐期齢を越えた森林が急増する森林構成を踏まえ、森林の有する公益的機能の発揮との調和に配慮し、木材資源の効率的な循環利用を考慮して多様化、長期化を図ることとし、多様な木材需要に対応した林齢で伐採するものとする。

(ウ) 伐採跡地については、ぼう芽による更新が確実な林分を除き、的確な更新により裸地状態を早急に解消するため、気候、土壌等の自然的条件に適合した樹種を早期に植栽する。

また、ぼう芽による更新を行う場合には、ぼう芽の発生状況等を考慮し、必要に応じ、芽かき、植え込みを行う。

(エ) 皆伐後天然更新を行う場合は、1箇所当たりの伐採面積及び伐採箇所は人工造林の場合に準ずるが、更新を確保するため伐区形状、母樹の保存等について配慮し、ぼう芽更新の場合は、優良なぼう芽を発生させるため11月から3月の間に伐採する。

人工林の生産目標ごとの主伐の時期は、下表の期待径級を目安として定める。

| 樹 種 | 仕立方法  | 期待径級(cm) |
|-----|-------|----------|
| ス ギ | 心持ち柱材 | 1 8      |
|     | 一般建築材 | 2 6      |
|     | 造 作 材 | 3 4      |
| ヒノキ | 心持ち柱材 | 1 8      |
|     | 一般建築材 | 2 6      |
|     | 造 作 材 | 3 4      |
| マ ツ | 一 般 材 | 1 8      |
|     | 梁 桁 材 | 2 8      |

#### イ 択伐

(ア) 択伐にあたっては、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、単木・帯状又は群状を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うものとする。

(イ) 森林の生産力及び森林の有する公益的機能の増進が図られる林型に誘導することを目標に適正な繰り返し期間とし伐採率は30パーセント以下（伐採後の造林が人工植栽によるばあいには40パーセント以下）を基準とすること。

### 3 その他必要な事項

#### 主伐を見合わせるべき立木の樹種別の年齢

主伐を見合わせるべき立木の樹種別の年齢は、育成途上にある立木が該当年齢に達するまでは主伐を見合わせるにより、森林生産力の有効な利用を図るための指標であり、制限林で伐採について禁止され、又は伐採の年齢につき制限を受けている森林以外の森林に適用されるが、主要樹種について、森林生産力の阻害を防止する観点から、連年成長量が最大となる年齢を基準として、下記のとおり定める。

| 地 区 | 樹 種 |       |     |            |
|-----|-----|-------|-----|------------|
|     | ス ギ | ヒ ノ キ | マ ツ | その他<br>針葉樹 |
| 全 域 | 20年 | 25年   | 20年 | 25年        |

## 第2 造林に関する事項

花粉発生源対策の加速化を図るため、花粉の少ない苗木（無花粉苗木、少花粉苗木、低花粉苗木及び特定苗木をいう。以下同じ。）の植栽、広葉樹の導入等に努めることとする。

### 1 人工造林に関する事項

人工造林については、植栽によらなければ的確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行うこととする。

#### (1) 人工造林の対象樹種

| 区 分       | 樹 種 名               | 備 考 |
|-----------|---------------------|-----|
| 人工造林の対象樹種 | スギ・ヒノキ・クヌギ・コナラ・ケヤキ等 |     |

人工造林をすべき樹種は、町内の区域内の森林の自然条件及び木材の利用状況を勘案して、スギ、ヒノキ、マツ類等の針葉樹及び有用な広葉樹の中から最も適合する樹種を定めるものとする。なお、苗木の選定に当たっては、特定苗木などの成長や形質に優れた苗木や花粉の少ない苗木の導入に努めること。また、定められた樹種以外の樹種を植栽しようとする場合は、県の林業普及指導員又は南部町産業課等に相談の上、適切な樹種を植栽するものとする。

#### (2) 人工造林の標準的な方法

##### ア 人工造林の樹種別及び仕立て方法別の植栽本数

| 樹 種                 | 仕立ての方法 | 標準的な植栽本数（本/ha） |
|---------------------|--------|----------------|
| ス ギ<br>ヒ ノ キ<br>マ ツ | 中仕立て   | 3, 000         |
|                     | 疎仕立て   | 1, 500         |

定められた標準的な植栽本数と乖離して植栽しようとする場合は、県の林業普及指導員又は南部町産業課等に相談の上、適当な植栽本数を判断するものとする。

##### イ その他人工造林の方法

| 区分     | 標準的な方法                                                                                                                       |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地拵えの方法 | <p>植え付けの障害となる雑草、ササ類等の刈り払い及び伐採木の末木枝条等を取り除き、苗木の植え付けを容易にする。</p> <p>急傾斜地においては、伐採木の株を利用して末木枝条で棚積みを行い、雪崩や山地崩壊の防止を図る。</p>           |
| 植付けの方法 | <p>苗木の生長活動盛んな時期の植え付けは避け、春植えにおいては苗木の生長が始まる直前に、また秋植えにおいては苗木の生長が終わる頃に行う。</p> <p>気候その他の立地条件及び既往の植え付け方法を勘案して定めるとともに、適期に植え付ける。</p> |
| 植栽の時期  | <p>春植え 1月初旬から3月下旬</p> <p>秋植え 10月中旬から12月中旬</p>                                                                                |

なお、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽の導入に努めることとする。

### (3) 伐採跡地の人工造林をすべき期間

森林資源の積極的な造成とともに林地の荒廃を防止するため、伐採後人工造林によるものについては原則として2年以内とする。この場合、下刈等の保育作業の省力化のため、コンテナ苗等の活用を図り、育林コストの低減に努めるものとする。この場合、下刈等の保育作業省力化のため、コンテナ苗等の活用を図り、育林コストの低減に努めるものとする。ただし、択伐により広葉樹林化、針広混交林化等の多様な森林へ誘導する場合は、伐採後おおむね5年を超えない期間を目安として、天然力を活用した更新を推進する。

## 2 天然更新に関する事項

### (1) 天然更新の対象樹種

天然更新の対象樹種は、気候、地形、土壌等の自然的条件、林業技術体系からみて、スギ、ヒノキ、マツ類、クリ、クヌギ、コナラ、ケヤキ、ヤマザクラ、トチノキ、モミジ・カエデ類等その他高木性の樹種を主体として、的確な更新が図られる樹種を定める。

### (2) 天然更新の標準的な方法

#### ア 天然更新の対象樹種の期待成立本数

| 樹種               | 期待成立本数                                                            |
|------------------|-------------------------------------------------------------------|
| アカマツ、クロマツ、クリ、クヌギ | 「天然更新完了基準」（平成19年6月18日付第200700047753号鳥取県農林水産部林政課長通知）に定める期待成立本数による。 |

#### イ 天然更新補助作業の標準的な方法

| 区分   | 標準的な方法                                                                     |
|------|----------------------------------------------------------------------------|
| 地表処理 | ササの繁茂や枝条の堆積等により、天然下種更新が阻害されている箇所については、掻き起こしや枝条整理等を行い、種子の定着及び発育の促進を図るものとする。 |
| 刈出し  | 天然幼稚樹の生育がササ等の下層植生によって阻害されている箇所については、幼稚樹の周囲を刈り払い幼稚樹の成長の促進を図るものとする。          |
| 植込み  | 天然下種更新及び萌芽更新の不十分な箇所については、経営目標等に適した樹種を選定して植込みを行うものとする。                      |
| 芽かき  | 萌芽更新を行った箇所において、目的樹種の発生状況により必要に応じて優良芽を1株あたり2本残すものとし、それ以外を掻き取るものとする。         |

#### ウ その他天然更新の方法

天然更新の完了については、「天然更新完了基準」（平成19年6月18日付第200700047753号鳥取県農林水産部林政課長通知）を用いるものとし、更新すべき立木の本数に満たず、天然更新が困難であると判断される場合には天然更新補助作業又は人工造林により確実に更新を図ることとする。

### (3) 伐採跡地の天然更新をすべき期間

天然更新によるものは森林の有する公益的機能の維持及び早期回復のため、早期に更新を図るものとし、伐採後おおむね5年を超えない期間を経過した時点で、更新の完了基準に基づき、町による更新状況の確認を受けるものとする。更新補助作業が必要な場合、森林所有者等は芽掻き、刈出し、補植などを行い確実な更新が図られるよう努めることとする。

## 3 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林に関する事項

### (1) 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林の基準

現況が針葉樹人工林であり、母樹となり得る高木性の広葉樹林が更新対象地の斜面上方や周囲約100

m以内に存在せず、林床にも更新樹種が存在しないことから、天然更新が期待できない森林について、植栽によりの確な更新を確保することとする。

なお、人工林については原則として植栽によるものとする。

- (2) 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林の所在  
該当なし

4 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準

森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準については、次のとおり定める。

(1) 更新に係る対象樹種

ア 人工造林の場合

1の(1)による。

イ 天然更新の場合

2の(1)による

(2) 生育し得る最大の立木の本数

「天然更新完了基準」（平成19年6月18日付第20070047753号鳥取県農林水産部林政課長通知）で定める期待成立本数とし、その本数に10分の3を乗じた本数以上の本数（ただし、草丈に一定程度の余裕高を加えた樹高以上のものに限る。）を更新する。

5 その他必要な事項

該当なし

第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法

間伐とは、林冠が隣り合わせた樹木の葉が互いに接して葉の層が林地を覆ったようになり、うっ閉し（樹冠粗密度が10分の8以上になること）、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採して行う伐採の方法であって、材積にかかる伐採率が35%以下であり、かつ、伐採年度の翌伐緩年度の初日から起算しておおむね5年後においてその森林の当該樹冠粗密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内で行うものとする。

原則として、間伐の間隔は、スギの標準伐期齢未満で10年、標準伐期齢以上で15年、ヒノキの標準伐期齢未満で10年、標準伐期齢以上で20年とする。

| 樹 種 | 施業体系 | 間伐を実施すべき標準的な林齢（年） |         |         |         | 間伐の方法                |
|-----|------|-------------------|---------|---------|---------|----------------------|
|     |      | 初 回               | 2回目     | 3回目     | 4回目     |                      |
| ス ギ | 大径材  | 15 ～ 20           | 25 ～ 30 | 35 ～ 45 | 50 ～ 60 | 原則としてスギ林分密度管理図を利用する  |
|     | 一般材  | 15 ～ 20           | 25 ～ 35 |         |         |                      |
| ヒノキ | 大径材  | 15 ～ 20           | 25 ～ 30 | 40 ～ 50 | 60 ～ 70 | 原則としてヒノキ林分密度管理図を利用する |
|     | 一般材  | 15 ～ 20           | 25 ～ 35 |         |         |                      |

## 2 保育の種類別の標準的な方法

| 保育の種類 | 樹種  | 実施すべき標準的な林齢及び回数 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |       |       |       |
|-------|-----|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|
|       |     | 1               | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16～20 | 21～25 | 26～30 |
| 下刈り   | スギ  | ○               | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △  |    |    |    |    |    |       |       |       |
| つる切   |     |                 |   |   |   |   |   | ← | △ | → |    | ←  | △  | →  |    |    |       |       |       |
| 除伐    | ヒノキ |                 |   |   |   |   |   |   |   | ← | ○  | →  |    |    | ←  | △  | →     |       |       |
| 雪起こし  |     | ←               |   |   |   |   | △ |   |   |   |    |    |    |    |    | →  |       |       |       |
| 枝打ち   |     |                 |   |   |   |   |   |   |   |   |    | ←  |    | ○  |    | →  | ←     | △     | →     |

注：△は必要に応じて実行する。

## 第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

### 1 公益的機能別施業森林の区域及び該当区域内における施業の方法

公益的機能別施業森林は、森林の有する公益的機能の維持増進を特に図るための森林施業を推進すべき森林であり、水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林、土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林、快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林からなる。

#### (1) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

水源涵養保安林や干害防止保安林、ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、地域の要水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林、水源涵養機能の評価区分が高い森林など水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

##### ア 区域の設定

別表1に定めるものとする。

##### イ 森林施業の方法

以下の伐期齢の下限に従った森林施業を推進すべき森林の区域を別表2に定めるものとする。

| 区域 | 樹種  |     |     |        |            |        |
|----|-----|-----|-----|--------|------------|--------|
| 全域 | スギ  | ヒノキ | マツ  | その他針葉樹 | クヌギ<br>コナラ | その他広葉樹 |
|    | 50年 | 55年 | 45年 | 55年    | 20年        | 30年    |

#### 伐採立木材積

伐採材積が年間成長量（カメラルタキセ式補正）に相当する材積に5を乗じて得た材積以下。

#### (2) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

##### ア 区域の設定

次の①から③までに掲げる森林の区域を別表1に定めるものとする。

##### ①土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

土砂崩壊防備保安林、土砂流出防備保安林、なだれ防止保安林、落石防止保安林や、砂防指定地周辺、山地災害危険地区や山地災害の発生により人命・人家等施設への被害の恐れがある森林、山地災害防止機能が低い森林。

## ②快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

風害防備保安林、防雪保安林、防霧保安林、防火保安林や町民の日常生活に密接な関わりを持ち、塵等の影響を緩和する森林、風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林、生活環境保全機能の評価区分の高い森林

## ③保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

保健保安林、風致保安林、都市緑化法に規定する緑地保全地域及び特別緑地保全地区、都市公園法に規定する風致地区、文化財保護に規定する史跡名勝天然記念物に係わる森林、キャンプ場・森林公園等の施設を伴う森林など住民の保健・教育的利用等に適した森林、保健文化機能の評価区分が高い森林。

### イ 森林施業の方法

地形・地質等の条件を考慮した上で伐採に伴って発生する裸地化の縮小並びに回避を図るとともに天然力も活用した施業、風や騒音等の防備や大気浄化のための有効な森林の構成の維持を図るための施業、憩いと学びの場を提供する観点からの広葉樹の導入を図る施業、美的景観の維持・形成に配慮した施業を推進する。

このため、次の①～③の森林のうち、これらの公益的機能の維持増進を特に図る必要がある場合には、択伐による複層林施業を推進すべき森林として定めるものとする。

また、適切な伐区の形状・配置等により、伐採後の林分においてこれらの機能の確保ができる森林は、長伐期施業を推進すべき森林として定めるものとし、主伐の時期を標準伐期齢のおおむね2倍以上とするとともに、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図ることとする。

なお、保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち、特に、地域独自の景観等が求められる森林において、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹を育成する森林施業を行うことが必要な場合には、これを推進する。

- ① 地形の傾斜が急な箇所、傾斜の著しい変移点をもっている箇所又は山腹の凹曲部等地表流水、地中水の集中流下する部分をもっている箇所、地質が基岩の風化が異常に進んだ箇所、基岩の節理又は片理が著しく進んだ箇所、土壌等が火山灰地帯等で表土が粗しょうで凝集力の極めて弱い土壌から成っている箇所、土層内に異常な滞水層がある箇所、石礫地から成っている箇所、表土が薄く乾性な土壌から成っている箇所等の森林等。
- ② 都市近郊林等に所在する森林であって郷土樹種を中心とした安定した林相をなしている森林、市街地道路等と一体となって優れた景観美を構成する森林、気象緩和、騒音防止等の機能を発揮している森林等。
- ③ 湖沼、瀑布、渓谷等の景観と一体となって優れた自然美を構成する森林、紅葉等の優れた森林日を有する森林であって主要な眺望点から望見されるもの、ハイキング、キャンプ等の保健・文化・教育的利用の場として特に利用されている森林のうち、保健・レクリエーション機能及び文化機能の発揮が特に求められる森林等。

アの①から③までに掲げる森林の区域のうち、公益的機能の維持増進を図るため、以下の伐期齢の下限に従った森林施業その他の森林施業を推進すべきものを当該推進すべき森林施業の方法ごとに別表2に定めるものとする。

長伐期施業を推進すべき森林の伐期齢の下限

| 区域 | 樹種  |     |     |        |            |        |
|----|-----|-----|-----|--------|------------|--------|
| 全域 | スギ  | ヒノキ | マツ  | その他針葉樹 | クヌギ<br>コナラ | その他広葉樹 |
|    | 64年 | 72年 | 56年 | 72年    | 16年        | 32年    |

## 2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域内における施業の方法

材木の生育に適した森林、林道などの開設状況等から効率的な施業が可能な森林、木材等生産機能の評ついて、木材の生産機能の維持増進を図る区域とする。

### (1) 区域の設定

別表1に定めるものとする。

### (2) 森林施業の方法

森林業の方法として、木材等林産物を継続的、安定的かつ効率的に供給するため、生産目標に応じた主伐の時期及び方法を定めるとともに適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本とし、森林施業の集約化、路網整備や機械化等を通じた効率的な森林整備を推進することとする。

また、木材生産機能維持増進森林のうち、緩傾斜かつ林道等の距離が近いなど、施行の効率性が特に高い地域を「特に効率的な施行が可能な森林の区域」とする。同域においては、伐採後は原則植栽による更新を行うこととする。

伐採後の更新完了の面積が連続して20ヘクタールを超えないこと。

南部町森林整備計画に定めるぼう芽更新が可能な伐採方法以外の天然生林にあっては、伐採率70%以下の伐採。

## 3 その他必要な事項

### (1) 施業実施協定の締結の促進方法

講演会及び説明会等による施業実施協定の制度周知を図り、施業実施協定の参加を促進する。

### (2) その他

該当なし

## 第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

### 1 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大に関する方針

森林施業を適切に行っていない森林所有者が多い地域にあっては、林業事業体や森林組合等による経営の受委託を促進する。この際、施業内容やコストを提案し、施業意欲を喚起するよう努めるものとする。また、特に、不在村森林所有者の多い地域では、当該所有者に対する普及・啓発活動を強化し、森林経営委託の推進に努める。

さらに、森林クラウドの活用や林地台帳、地籍調査との連携により、森林境界の明確化を進め、所有者情報や施業履歴などの森林情報を整備・管理するとともに、施業の集約化に取り組む者に対する施業の受委託等に必要な情報の提供及び公開に努めることにより、町内の動向を把握し、森林経営の規模の拡大を図ることとする。

### 2 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策

森林所有者への長期の施業の委託等森林の経営の委託の働きかけ、森林の経営の受委託等を担う林業事業体等の育成、施業の集約化に取り組む者に対する森林の経営の受託等に必要な情報の提供、助言及びあっせんに努め、森林の施業又は経営の受託等による経営規模の拡大を促進する。

### 3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項

間伐等の森林施業に加え、路網整備や森林保護に関する項目を含む内容で森林経営の受委託等を行う。その際、森林の技術や知識を有した者と契約締結を進めるよう留意する。

### 4 森林の経営管理制度の活用に関する事項

森林の経営管理（自然的経済的社会的諸条件に応じた適切な経営又は管理を持続的に行うことをいう。以下同じ。）を森林所有者自らが実行できない場合には、町が経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林について意欲と能力のある林業経営者に再委託するとともに、再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林については町が自ら経営管理を実施する森林経営管理制度の活用を促進するものと

する。

5 その他必要な事項  
該当なし

第6 森林施業の共同化の促進に関する事項

1 森林施業の共同化の促進に関する方針

流域内の森林で、団地的まとまりのある地域について、県、市町村、森林組合等の林業事業体が連携して森林施業の団地化の普及啓発活動を行い、周知を図るとともに、森林組合等の事業体による森林所有者等の合意形成活動と施業提案活動を推進する。併せて、今後、間伐等の適切な整備及び保全を推進するための条件整備として、境界の整備など森林管理の適正化を図るものとする。

2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策

間伐、路網整備などの共同化を重点的に実施する。その推進にあたっては森林組合との連携、不在村森林所有者への働きかけを行うこととする。

森林施業共同化重点的実施地区の設定計画

| 地区の名称                                                                                                                     | 地区の所在                     | 区域面積       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|------------|
| (西伯地区)<br>徳長、掛相、二舛、入蔵、伐株、<br>福頼、武信、笹畑、八金<br>常清、大木屋、金山、馬佐良、<br>鴨部、馬場、絹屋、猪小路、驛<br>牛、赤谷、道河内、早田、能竹、<br>賀祥、江原、今長、与一谷<br>鎌倉、法勝寺 | 8～15<br>17～105<br>107～124 | 3,966.76ha |
| (会見地区)<br>浅井、高姫、金田<br>御内谷、池野、鶴田                                                                                           | 215～220<br>225～237        | 747.64ha   |
| 計                                                                                                                         |                           | 4,714.4ha  |

3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

施業方法の共同化を効果的に促進するため、路網、土場、作業場等の施設の設置及び維持管理の方法並びに利用に関し必要な事項をあらかじめ明確にすること。また種苗の共同購入等共同して行う施業の実施方法についてもあらかじめ明確にすること。さらに、明確にした事項につき遵守しないことにより、他の共同施業実施者に不利益を被らせ又は施業実施の共同化の実効性が損なわれることのないよう、あらかじめ、施業の共同実施の実効性を担保するための措置について明確にすること。

4 その他必要な事項

該当なし

第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

1 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項

(単位 m/ha)

| 区分                | 作業システム        | 路網密度  |        |         |
|-------------------|---------------|-------|--------|---------|
|                   |               | 機関路網  | 細部路網   | 全体      |
| 緩傾斜地<br>(0°～15°)  | 車両系<br>作業システム | 35～50 | 65～200 | 100～250 |
| 中傾斜地<br>(15°～30°) | 車両系<br>作業システム | 25～40 | 50～160 | 75～200  |
|                   | 架線系<br>作業システム |       | 0～35   | 25～75   |

|                     |               |       |        |        |
|---------------------|---------------|-------|--------|--------|
| 急傾斜地<br>(30° ～35° ) | 車両系<br>作業システム | 15～25 | 45～125 | 60～150 |
|                     | 架線系<br>作業システム |       | 0～25   | 15～50  |
| 急峻地<br>(35° ～ )     | 架線系<br>作業システム | 5～15  | -      | 5～15   |

その他の施業の必要に於いては随時整備する。

- 2 路網の整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項  
該当なし

### 3 作業路網の整備に関する事項

#### (1) 基幹路網に関する事項

##### ア 基幹路網の作設に係る留意点

安全の確保、土壌の保全等を図るため、適切な規格・構造の路網の整備を図る観点等から、林道規程（昭和48年4月1日林野道第107号林野庁長官通達）及び鳥取県林業専用道作設指針（平成23年3月31日第201000207814号）に則り開設することとする。

また、林道整備の目的等を踏まえ、森林・林業及び林道整備の特性、現場条件等を勘案して、構造・規格等を決定するとともに、自然条件や社会的条件が良く、将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に整備を加速化させるなど、森林施業の優先順位に応じた整備（路網改良を含む。）を推進することとする。

##### イ 基幹路網の整備計画

（単位 延長：km、面積：ha、蓄積m<sup>3</sup>）

| 開設<br>／<br>拡張 | 種類   | 区分 | 位置  | 路線名    | 延長及び箇所数   | 利用区<br>域面積 | 前半<br>5か<br>年間の計<br>画箇所 | 備考    |
|---------------|------|----|-----|--------|-----------|------------|-------------------------|-------|
| 開設            | 自動車道 | 林道 | 八金  | 金花線    | 1.2 ー1 か所 | 128        |                         | 森林管理道 |
| 開設            | 自動車道 | 林道 | 上中谷 | 行者山    | 3.4 ー1 か所 | 1,175      | ○                       | 森林基幹道 |
| 開設            | 自動車道 | 林道 | 東上  | 二枡     | 0.9 ー1 か所 | 114        |                         | 森林管理道 |
| 開設            | 自動車道 | 林道 | 下中谷 | あご牛山   | 0.9 ー1 か所 | 218        |                         | 森林管理道 |
| 開設            | 自動車道 | 林道 | 池野  | 二部越（2） | 2.5 ー1 か所 | 332        |                         | 森林管理道 |
| 拡張            | 改良   | 林道 | 東上  | 鎌倉山    | 1.0 ー1 か所 | 1,155      |                         | 幹線    |
| 拡張            | 改良   | 林道 | 上中谷 | 行者山    | 1.5 ー1 か所 | 1,175      | ○                       | 森林基幹道 |

##### ウ 基幹路網の維持管理に関する事項

森林環境保全整備事業実施要領（平成14年3月29日付け13林整整第885号林野庁長官通知）、民有林林道台帳について（平成8年5月16日8林野基第158号林野庁長官通知）等に基づき、管理者を定め、台帳を作成して適切に管理する。

#### (2) 細部路網に関する事項

##### ア 細部路網の作設に係る留意点

継続的な使用に供する森林作業道等の開設について、基幹路網との関連の考え方や丈夫で簡易な規格・構造の路網を整備する観点等から鳥取県林業専用道作設指針（平成23年3月31日第201000207814号）及び鳥取県森林作業道作設指針（平成23年3月31日第201000193342号）に則り開設することとする。

イ 細部路網の維持管理に関する事項

鳥取県森林作業道作設指針（平成23年3月31日第201000193342号）等に基づき、森林作業道が継続的に利用できるよう適正に管理する。

4 その他必要な事項

該当なし

第8 その他必要な事項

1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項

森林施業の共同化及び合理化を進めるとともに、農業及び特用林産物の導入をも視野に入れた複合経営による林業経営の健全化及び安定化を目標とし、林道、作業路等の路網整備による生産コストの低減及び労働強度の低減を図ることとする。

2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項

（1）林業機械化の促進方向

林業就労者の減少及び高齢化の中、生産性の向上・労働強度の軽減及び生産コストの低下を図るためには、林業の機械化は必要不可欠であり、傾斜地の多い地形や樹種に対応した機械の導入は重要な課題である。

（2）高性能機械を主体とする林業機械の導入目標

森林施業の効率化や労働災害の減少を図るため、林業機械の普及宣伝、機械の共同利用等により、高性能林業機械の導入を促進するとともに、林地の傾斜等自然条件、路網の整備状況、事業量のまとまり等地域の特性に応じた作業システムの確立・普及及び林業機械の稼働率向上、林業機械オペレーターの養成を計画的に推進する。

| 施 業 の 種 類         |       | 現 状                      | 将 来                       |
|-------------------|-------|--------------------------|---------------------------|
| 伐 倒<br>造 材<br>集 材 | 日野川流域 | チェーンソー<br>林内作業車<br>グラップル | 簡易小型車両系（プロセッサ、小型フォワードタイプ） |
| 造 林<br>保育等        | 地 拵   | チェーンソー                   | チェーンソー                    |
|                   | 下 刈   | 刈払機                      | 刈払機                       |
|                   | 枝 打   | 人力、枝打機                   | リモコン自動枝打機                 |

（3）林業機械化の促進方策

林業機械の促進方策は、下記事項を重点的に推進し、林業における安全性の確保及び生産コストの低減を推進することとする。

- ① 森林組合を中心とした高性能林業機械の導入による森林施業の機械化の推進。
- ② 高性能林業機械のオペレーターの育成するため県の実施する研修会等への積極的参加。

3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項

本町における素材の生産流通・加工については、森林資源の成熟度が低いことから、低迷している。製材工場は、いずれも小規模の個人経営であり、規模の拡大もあまり望めない現状である。木材の流通に対する施策としては、間伐中心にその計画的実行を図り、間伐材の商品化及び需要開発を行うため法勝寺地区に建設された集成材工場を有効に利用する。また、合法伐採木材の流通促進の観点から、木材関連事業者による合法性の確認等の実施及び合法性確認木材等の取扱数量の増加等の取組を着実に進める。

特用林産物のうち本町の特産品の一つであるシイタケについては、徳長、武信地区において生産が積

極的に行われているが、いずれも個人経営で小規模であり、生産量はほぼ横ばいである。今後については、広葉樹植樹による原木ホダ木の安定的な供給、経営の共同合理化及び品質の向上と共に生産地の拡大を目指し、農協と連携して販路の拡大に努め生産振興を図ることとする。また、自然食品指向に着目し、これまで利用が低かった樹木や山菜等を地域の新たな資源として見直し、利用方法の開発、販路の拡大等今後一層の育成を図ることとする。また、増加しつつある竹材の有効活用を図るために、土壌改良資材、防草資材、家畜飼料、竹炭等としての利用を行うための機材整備や販路の拡大に努める。

### Ⅲ 森林の保護に関する事項

#### 第1 鳥獣害の防止に関する事項

##### 1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

###### (1) 区域の設定

該当なし

###### (2) 鳥獣害の防止の方法

該当なし

##### 2 その他必要な事項

該当なし

#### 第2 森林病虫害の駆除及び、予防、火災の予防その他の森林の保護等に関する事項

##### 1 森林病虫害等の駆除及び予防の方法等

###### (1) 森林病虫害の駆除及び予防の方針及び方法

森林病虫害等による被害の早期発見及び早期駆除に努めることとする。

特に松くい虫による被害について適確な防除の推進を図るとともに、被害の状況に応じ、被害跡地の復旧、抵抗性を有するマツ又は他の樹種への計画的な転換を図ることとする。防除実施計画については、森林病虫害等防除法に規定する諸計画等による。

また、ナラ枯れ被害についても、被害監視体制から防除実行までの地域の体制づくり、新たな技術導入も含めた適切な防除方法を検討し、被害の拡大防止を図ることとする。

###### (2) その他

該当なし

##### 2 鳥獣害対策の方針（第1に掲げる事項を除く）

放置された里山や竹林は、野生鳥獣の緩衝帯としての機能を失い、イノシシやツキノワグマ等の集落への出没や農業被害を誘発させているため、森林内の刈り払いや除伐等を行うことにより、緩衝帯としての機能を回復させ、野生鳥獣が出没しにくい環境づくりに努めることとする。

##### 3 林野火災の予防の方法

レクリエーション等による森林の利用が増大する中で、林内への入込者が多い地域を重点に、火災予防等に関する啓発のための看板を設置する。また、森林保全巡視指導員等により巡視を実施し、火災予防の啓発指導をはじめ、保安林の巡視、違法行為の発見と指導、病害獣害その他災害の発見に努めるものとする。

##### 4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項

火入れを行う場合は、森林法第21条第2項各号に掲げる目的に該当することとし、南部町森林等火入れに関する条例に則し行うものとする。

##### 5 その他必要な事項

- (1) 病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき森林  
該当なし

#### Ⅳ 森林の保健機能の増進に関する事項

- 1 保健機能森林の区域  
該当なし
- 2 保健機能森林の区域内の森林における造林、保育、伐採その他の施業の方法に関する事項  
該当なし
- 3 保健機能森林の区域内の森林における森林保健施設の整備に関する事項  
該当なし
- 4 その他必要な事項  
該当なし

#### Ⅴ その他森林の整備のために必要な事項

- 1 森林経営計画の作成に関する事項
  - (1) 森林経営計画の記載内容に関する事項  
森林経営計画を作成するに当たり、以下の事項において適切に計画すること。
    - ア 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林における主伐後の植栽
    - イ 公益的機能別施業森林の施業方法
    - ウ 森林の施業又は経営の受託等を実施する上で留意すべき事項及び共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項
    - エ 森林病虫害の駆除又は予防その他森林の保護に関する事項

(2) 森林法施行規則第33条第1号ロの規定に基づく区域  
【西伯地区】

| 区域名                | 林 班                                                                                                                 | 面積 (ha) |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 福成、境、北方区域          | 4 林班、5 林班、6 林班、7 林班、20 林班                                                                                           | 275.44  |
| 清水川、阿賀、倭、<br>法勝寺区域 | 1 林班、2 林班、3 林班、8 林班、21 林班、22 林班、<br>23 林班                                                                           | 451.61  |
| 猪小路区域              | 17 林班、18 林班、19 林班                                                                                                   | 175.89  |
| 与一谷、西、原区域          | 9 林班、10 林班、15 林班、16 林班                                                                                              | 168.43  |
| 絹屋区域               | 11 林班、12 林班、13 林班、14 林班                                                                                             | 182.72  |
| 馬場、徳長区域            | 35 林班、36 林班、37 林班、38 林班、39 林班                                                                                       | 179.14  |
| 鴨部、能竹区域            | 31 林班、32 林班、33 林班、34 林班、87 林班                                                                                       | 260.23  |
| 武信、道河内、<br>伐株区域    | 40 林班、41 林班、42 林班、43 林班、44 林班、<br>45 林班                                                                             | 342.90  |
| 掛相、馬佐良区域           | 24 林班、25 林班、26 林班、27 林班、28 林班、<br>29 林班、30 林班                                                                       | 403.08  |
| 中区域                | 46 林班、47 林班、48 林班、49 林班、50 林班                                                                                       | 269.29  |
| 八金区域               | 51 林班、52 林班、53 林班、54 林班、55 林班、<br>56 林班、57 林班、58 林班、59 林班、60 林班、<br>61 林班                                           | 551.49  |
| 二柗、常清区域            | 62 林班、80 林班、81 林班、82 林班、83 林班、<br>84 林班、85 林班                                                                       | 322.32  |
| 金山区域               | 63 林班、64 林班、65 林班、66 林班、67 林班、<br>68 林班、69 林班、70 林班、71 林班、72 林班、<br>73 林班、74 林班、75 林班、76 林班、77 林班、<br>78 林班、79 林班   | 1111.71 |
| 下中谷区域              | 86 林班、88 林班、89 林班、90 林班、91 林班、<br>92 林班、93 林班、94 林班、95 林班、96 林班、<br>97 林班、98 林班、99 林班、100 林班                        | 873.98  |
| 上中谷区域              | 101 林班、102 林班、103 林班、104 林班、<br>105 林班、106 林班、107 林班、108 林班<br>109 林班、110 林班、111 林班、112 林班、<br>113 林班、114 林班、115 林班 | 1383.07 |
| 大木屋区域              | 116 林班、117 林班、118 林班、119 林班、<br>120 林班、121 林班、122 林班、123 林班、<br>124 林班                                              | 785.91  |

【会見地区】

| 区域名           | 林 班                                                                                                | 面積 (ha) |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 諸木、田住区域       | 2 0 1 林班、2 0 2 林班、2 0 3 林班                                                                         | 116. 70 |
| 宮前、天萬、寺内、三崎区域 | 2 0 4 林班、2 0 5 林班、2 0 6 林班、2 0 7 林班                                                                | 198. 71 |
| 市山、荻名、朝金区域    | 2 0 8 林班、2 0 9 林班、2 1 0 林班、2 1 1 林班、2 1 2 林班、2 1 3 林班                                              | 401. 59 |
| 高姫、浅井区域       | 2 3 3 林班、2 3 4 林班、2 3 5 林班、2 3 6 林班、2 3 7 林班                                                       | 264. 33 |
| 金田、井上、御内谷区域   | 2 2 5 林班、2 2 6 林班、2 2 7 林班、2 2 8 林班、2 2 9 林班、2 3 0 林班、2 3 1 林班、2 3 2 林班                            | 456. 87 |
| 池野、鶴田区域       | 2 1 4 林班、2 1 5 林班、2 1 6 林班、2 1 7 林班、2 1 8 林班、2 1 9 林班、2 2 0 林班、2 2 1 林班、2 2 2 林班、2 2 3 林班、2 2 4 林班 | 668. 23 |

2 生活環境の整備に関する事項

該当なし

3 森林整備を通じた地域振興に関する事項

林内路網の整備や高性能林業機械の導入を図り、木材製品生産事業者へ安定した原木供給体制を整備し、また、株式会社鳥取CLTで生産される直工集成材のPR、生産及び流通体制の整備の推進を図り、町産木材の活用による地域振興を目指す。

4 森林の総合利用の推進に関する事項

該当なし

5 住民参加による森林の整備に関する事項

(1) 地域住民参加による取組に関する事項

地域住民が森林にふれあう機会を提供し、森林・林業の学習や体験活動を支援することで、森林を地域住民で守り育てる意識の醸成を図り、住民参加による森林整備を推進する。

とっとり共生の森育成支援を積極的に行い、企業等の社会貢献事業の推進を図るとともに、地元住民の森林への関心や理解を高める。

(2) 上下流連携による取組に関する事項

水源地としての森林の重要性について理解を深めるため、下流域の住民団体に間伐や枝打ちなどの作業にボランティアとしての参加を働きかける。

森林の有する水源涵養等の公益的機能の維持・発展のため、近隣市町村と連携して森林造成・保全を行う。

(3) その他

該当なし

6 その他必要な事項  
該当なし

【別表 1】

| 区分                                                              |                                              | 森林の区域                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 面積 (ha)    |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林                                 |                                              | <p>(西伯地区)</p> <p>46～49林班、50林班A. B、51林班、52林班、53林班B、56林班A、57林班A. B、58林班、60林班、61林班、62林班A、63林班A. B. E、64林班、65林班、66林班B、67林班、69林班B、70林班A. F. G、71林班A、72林班、73林班、75林班、77～80林班、83林班B、84林班A、85林班、86林班、87林班A. B. E. G～K、88林班、89林班、90林班A. B. E. F、91林班A. B. E92林班、93林班A. C～G、94林班、95林班A. B. E. F、96～98林班、99林班C～F、100林班A. B. F～H、101林班、102林班A～G. J、103林班A. B. D. E、104林班A. C、105林班、106林班C. G、107林班、108林班B. C、109～114林班、115林班A～E. G～K、116～118林班、119林班A～C、120林班A. B、121林班、122林班、123林班A～C、124林班</p> <p>(会見地区)</p> <p>208～215林班、217～223林班、225林班、226林班、228林班、229林班、230林班、232林班、234林班</p> <p>●以下の森林の図 1 に示す区域以外</p> <p>50 林班 C～E、53 林班 A、54 林班、55 林班、56 林班 B、57 林班 C、59 林班、62 林班 B～D、63 林班 C. D、66 林班 A、68 林班、69 林班 A、70 林班 B～E、71 林班 B～C、74 林班、76 林班、82 林班、83 林班 A、84 林班 B、87 林班 C. D. F、90 林班 C. D、91 林班 C. D、93 林班 B、95 林班 C. D、99 林班 A. B、100 林班 C～E、102 林班 H. I、103 林班 C、104 林班 B. D、106 林班 A. B. D～F、108 林班 A、115 林班 F、119 林班 D. E、120 林班 C. D、123 林班 D. E</p> | 5, 096. 07 |
| 土地に関する災害の防止及び土壌の保全機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 | 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 | <p>(西伯地区)</p> <p>1～36林班、37林班A、38～45林班、81林班</p> <p>(会見地区)</p> <p>201～207林班、224林班、227林班、231林班、233林班、235林班、236林班、237林班</p> <p>●以下の森林の図 1 に示す区域</p> <p>50林班C～E、53林班A、54林班、55林班、56林班B、57林班C、59林班、62林班B～D、63林班C. D、66林班A、68林班、69林班A、70林班林班B～E、71林班B～C、74林班、76林班、82林班、83林班A、84林班B、87林班C. D. F、90林班C. D、91林班C. D、93林班B、95林班C. D、99林班A. B、100林班C～E、102林班H. I、103林班C、104林班B. D、106林班A. B. D～F、108林班A、115林班F、119林班D. E、120林班C. D、123林班D. E</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 3, 393. 32 |

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                       |        |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------|
|                                | 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 該当なし                                  |        |
|                                | 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | (西伯地区)<br>37林班B, C<br>(会見地区)<br>216林班 | 52. 18 |
| 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 | (西伯地区)<br>2林班C. D. F～I、3林班A～E. G、4林班A～F、5林班A. B. D、6林班E、7林班A～F、9林班A～C、10林班B～D. F、11林班A. C～E、12林班A. B、13林班A～D、14林班A. E、15林班A. C. F、16林班A～E、17林班A～C、18林班A. B、19林班B. D～F、20林班A. B. F、21林班A. B. D～F、22林班A～D. F. G、23林班A. C. E. G、24林班A. C～E、25林班A～D、26林班A. D. I、27林班A、28林班A. B. D、29林班A～E、30林班B～D、31林班A. B、32林班A～F、33林班A～C、34林班A、36林班A～D、37林班A、38林班A～D、39林班D. E、40林班A～F、41林班A、42林班A～C、43林班A～F、44林班A～D、45林班A. B、46林班A～D、47林班A～E、48林班A～C、49林班A～C. H. I、50林班A～E、51林班A、52林班C. D、53林班A. B、54林班A. B、55林班A. B、58林班E、59林班D、61林班C、62林班B、63林班A. C～E、64林班A、65林班A、66林班A. B、67林班B. C、68林班A、69林班A、70林班B. E. F、71林班A. B、72林班A. B、73林班A、74林班A、75林班A、76林班A、77林班A～C、78林班A～C、79林班A. C、80林班A～D、81林班B、82林班A. B、83林班A. B、84林班A. B、85林班A. B、86林班A. D. E、87林班B～K、88林班A～D、89林班A～D、90林班A～F、91林班B、92林班B～D、93林班A～C. G、94林班A～E、95林班B～D. F、96林班A～E、97林班A～C. E. F. H. I、98林班A. C. E～G、99林班A. B. D. E、100林班A～H、101林班A～F、102林班A～E. G～J、103林班A～E、104林班A～D、105林班A～D、106林班A～G、107林班B. D、110林班B～H、111林班A. B、113林班D. E、114林班A、115林班A. B. E～G. I～K、116林班A～D、117林班A～D、118林班A～C、119林班A～E、120林班A～D、121林班B～D、122林班A～G、123林班A～E、124林班A～D<br>(会見地区)<br>201林班A. B、202林班I～M、203林班A. B. H. I、204林 | 6476. 07                              |        |

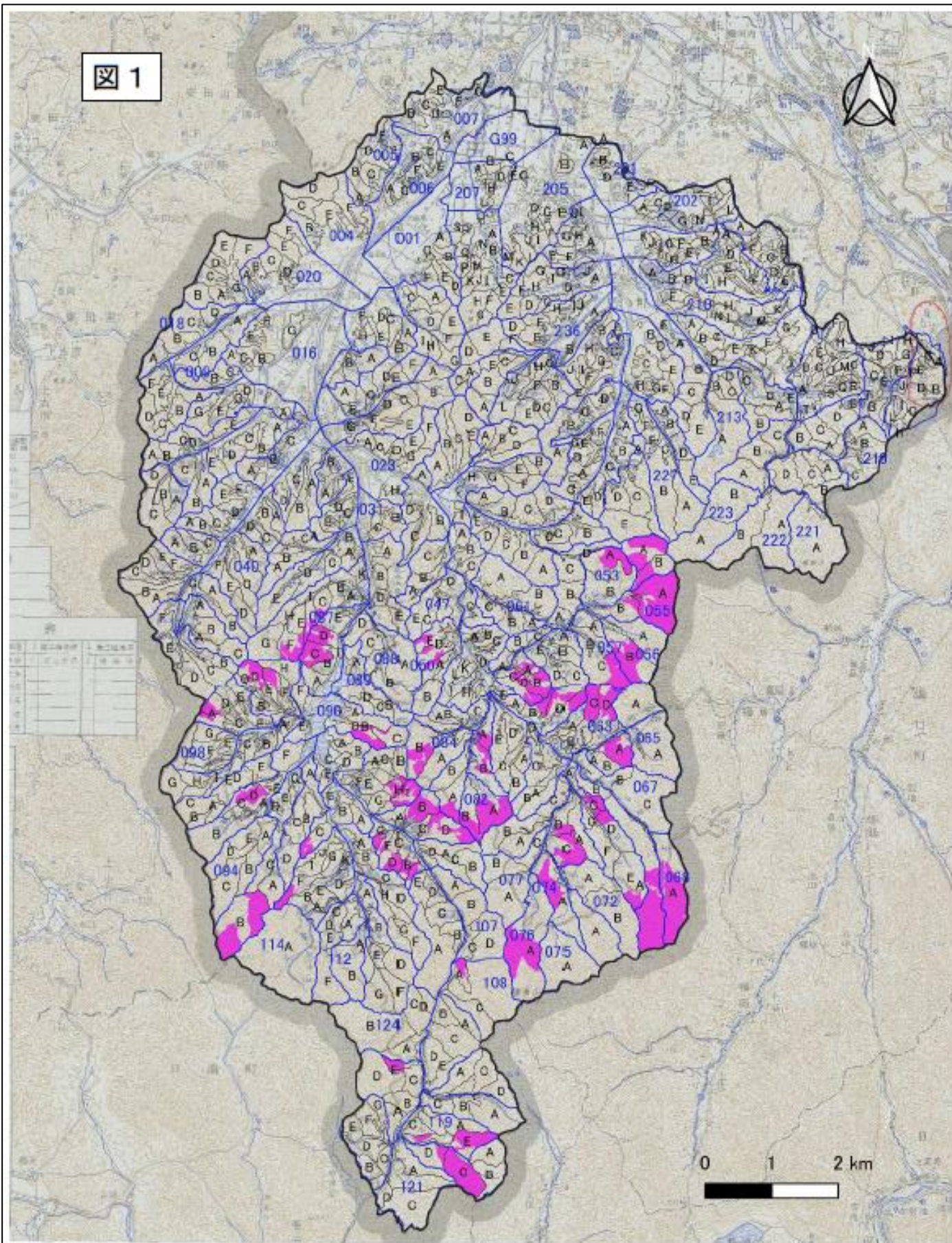
|  |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |
|--|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
|  |                        | 班A. B. H. I、205林班A. F. G. I～K. M、206林班B～F. I<br>～P. R. T、207林班A～C. E. F. J～L、208林班A～F、20<br>9林班A. B. E～G、210林班L、211林班D～H. K、212林<br>班A～E、213林班A～D、214林班A. B. D. E、215林班A<br>～D. F～T、216林班B. C. D. F～H. J、217林班B～H. L.<br>M、218林班A～E、219林班A. C、220林班A～D、221林<br>班A、222林班A. B、223林班A. B、224林班A～C、225<br>林班C～G、226林班B～D、227林班B. C. F. G、228林班<br>A～E、229林班A～E、230林班A～G、231林班A. B. D、<br>232林班A. B. D～J、233林班E. F. H～L、234林班A～E、<br>235林班A～F、236A～F. H～J、237林班B～F |         |
|  | 特に効率的な<br>施業が可能な<br>森林 | (西伯地区)<br>47林班A～E、48林班A～C、86林班E<br>(会見地区)<br>209林班A. B. E～G、210林班L、211林班F. G、215林班<br>G、217林班B. D. L. M、220林班A～D                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 197. 24 |

【別表 2】

| 施業の方法         |                           | 森林の区域                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 面積 (ha)  |
|---------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 伐期の延長を推進すべき森林 |                           | <p>(西伯地区)</p> <p>46～49 林班、50 林班 A. B、51 林班、52 林班、53 林班 B、56 林班 A、57 林班 A. B、58 林班、60 林班、61 林班、62 林班 A、63 林班 A. B. E、64 林班、65 林班、66 林班、66 林班 B、67 林班、69 林班 B、70 林班 A. F. G、71 林班 A、72 林班、73 林班、75 林班、77～80 林班、83 林班 B、84 林班 A、85 林班、86 林班、87 林班 A. B. E. G～K、88 林班、89 林班、90 林班 A. B. E. F、91 林班 A. B. E92 林班、93 林班 A. C～G、94 林班、95 林班 A. B. E. F、96～98 林班、99 林班 C～F、100 林班 A. B. F～H、101 林班、102 林班 A～G. J、103 林班 A. B. D. E、104 林班 A. C、105 林班、106 林班 C. G、107 林班、108 林班 B. C、109～114 林班、115 林班 A～E. G～K、116～118 林班、119 林班 A～C、120 林班 A. B、121 林班、122 林班、123 林班 A～C、124 林班</p> <p>(会見地区)</p> <p>208～215 林班、217～223 林班、225 林班、226 林班、228 林班、229 林班、230 林班、232 林班、234 林班</p> <p>●以下の森林の図 1 に示す区域以外</p> <p>50 林班 C～E、53 林班 A、54 林班、55 林班、56 林班 B、57 林班 C、59 林班、62 林班 B～D、63 林班 C. D、66 林班 A、68 林班、69 林班 A、70 林班 B～E、71 林班 B～C、74 林班、76 林班、82 林班、83 林班 A、84 林班 B、87 林班 C. D. F、90 林班 C. D、91 林班 C. D、93 林班 B、95 林班 C. D、99 林班 A. B、100 林班 C～E、102 林班 H. I、103 林班 C、104 林班 B. D、106 林班 A. B. D～F、108 林班 A、115 林班 F、119 林班 D. E、120 林班 C. D、123 林班 D. E</p> | 5096. 07 |
| 長伐期施業を推進すべき森林 |                           | <p>(西伯地区)</p> <p>1～36林班、37林班、38～45林班、81林班</p> <p>(会見地区)</p> <p>201～207林班、216林班、224林班、227林班、231林班、233林班、235林班、236林班、237林班</p> <p>●以下の森林の図 1 に示す区域</p> <p>50林班C～E、53林班A、54林班、55林班、56林班B、57林班C、59林班、62林班B～D、63林班C. D、66林班A、68林班、69林班A、70林班林班B～E、71林班B～C、74林班、76林班、82林班、83林班A、84林班B、87林班C. D. F、90林班C. D、91林班C. D、93林班B、95林班C. D、99林班A. B、100林班C～E、102林班H. I、103林班C、104林班B. D、106林班A. B. D～F、108林班A、115林班F、119林班D. E、120林班C. D、123林班D. E</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 3445. 5  |
| 複層林施業を推進すべき森林 | 複層林施業を推進すべき森林（択伐によるものを除く） | 該当なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |          |

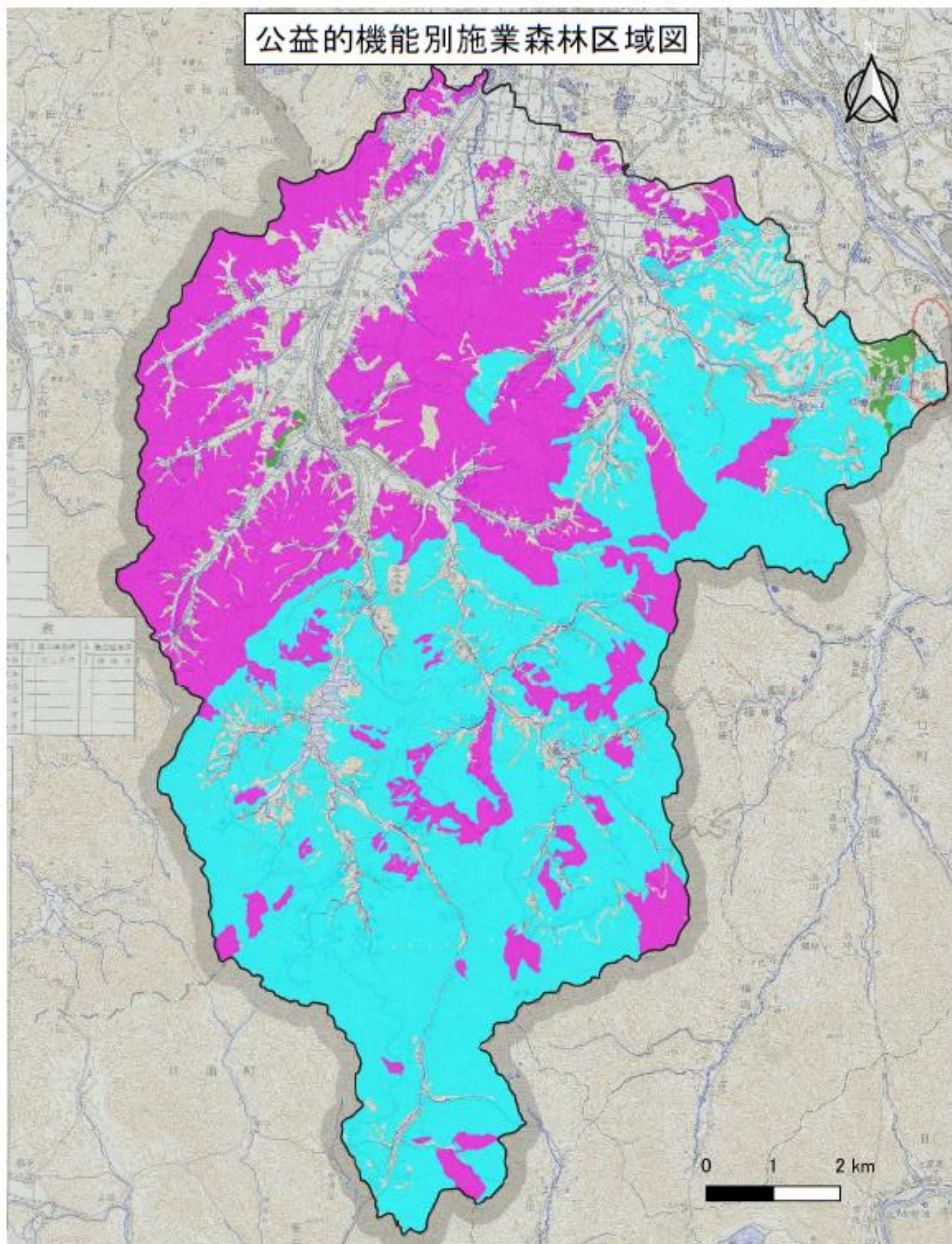
|                             |                                |      |  |
|-----------------------------|--------------------------------|------|--|
|                             | 択伐による<br>複層林施業<br>を推進すべ<br>き森林 | 該当なし |  |
| 特定広葉樹の育成を行う森林<br>施業を推進すべき森林 |                                | 該当なし |  |

図 1



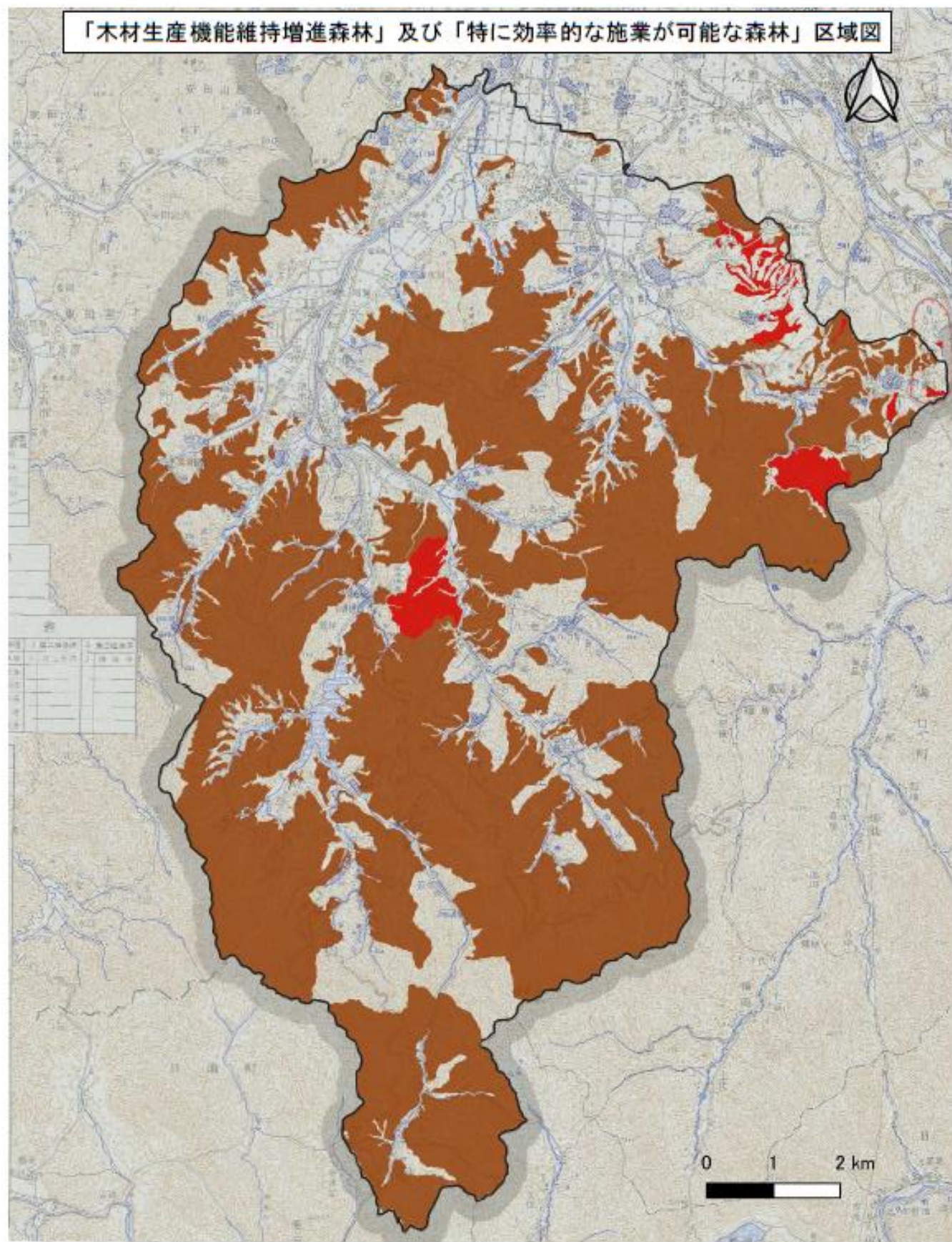
別表1及び別表2関連の区域

# 公益的機能別施業森林区域図



- 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林
- 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林
- 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

「木材生産機能維持増進森林」及び「特に効率的な施業が可能な森林」区域図



- 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林
- 特に効率的な施業が可能な森林